

計画の内容の修正を要する意見は寄せられなかったが、以下の質疑が寄せられたことから、県の考えを整理した。

番号	意見内容	県の考え
1	<p>「6 目標達成に向けた施策 (1) 再生可能エネルギー等の利用促進 ホ 地域と共生した再生可能エネルギーの推進等 (ホ)」(P36)では、バイオマスが木質バイオマスに限定されているように見える。廃棄物系のバイオマスも発電・熱利用において有効かと考えるがどのように考えるか。</p>	<p>バイオマスの利用については、様々な性状のものを電力や熱に活用することが考えられるため、「4(2)ロ バイオマス発電」(P29)において、食品残さや木質、廃棄物系など多様なバイオマス活用の課題を整理しています。</p> <p>また、推進施策に関しては、御指摘のありました「6(1)ホ 地域と共生した再生可能エネルギーの推進等」のほか、「6(1)ハ 再生可能エネルギーを活用したまちづくり支援」(P35)や「6(1)チ 農林水産業における再生可能エネルギー導入・省エネルギーの推進」の(ロ)(P37)、「6(1)ハ 食品廃棄物等の3Rの推進」の(ト)(P41)、「6(7)ホ 農山漁村地域における再生可能エネルギーの導入の促進」(P46)など、様々な場面や切り口から、多様なバイオマスの発電・熱利用を進めるものとします。</p>
2	<p>概要版の中で、廃棄物系のバイオマス由来の肥料の有効活用などについて記載がないが、昨今の農業資材の高騰なども踏まえ、目標や取組を定めるべきではないか。</p>	<p>計画本文の「6(4)ハ 食品廃棄物等の3Rの推進」(P41)において、「エコフィードの活用」や「食品廃棄物から飼肥料製造に対する支援」を位置付けています。</p>
3	<p>J-クレジットについて、太陽光のクレジットに関する記載があるが森林管理や省エネ化についてもクレジットの活用が可能ではないか。</p>	<p>現在、県の住宅向け補助制度を活用した太陽光発電施設を対象に、環境価値を県に寄付いただき、主に県内事業者への売却益を環境教育等の県事業に活用しています。</p> <p>今後、御指摘のような多様な取組についても、クレジット化の可能性を調査・検討したいと考えています。</p>